

ハートがたくさんある村づくり

差別のない、人への思いやりを大切にする、
明るい南阿蘇村をつくりましょう。

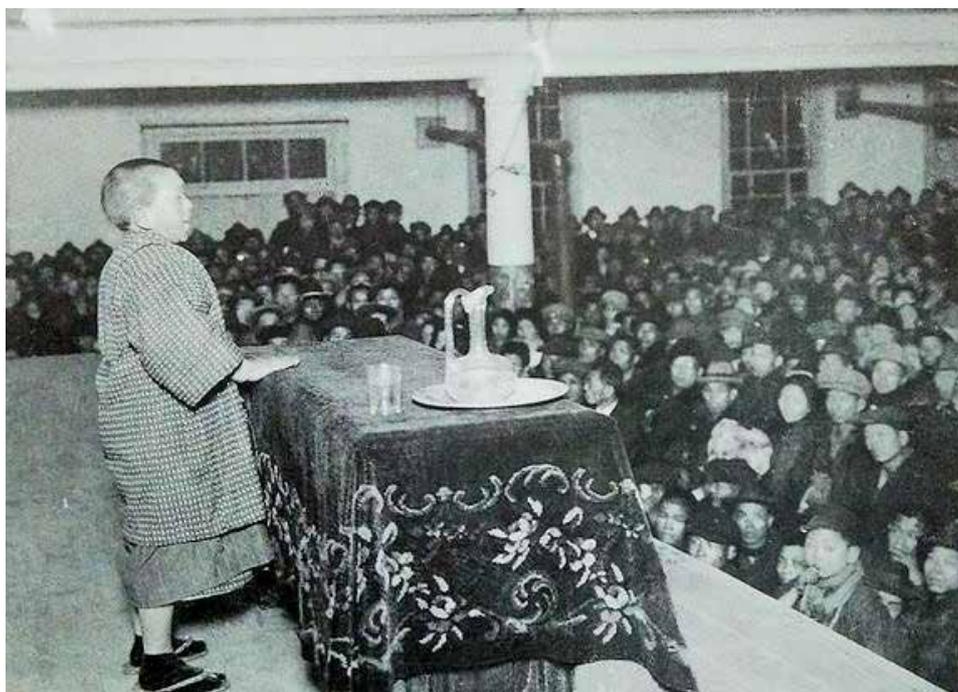


人権とはなんですか？

人権とは「すべての人々が生命と自由を確保し、それぞれの幸福を追求する権利」あるいは「人間が人間らしく生きる権利で、生まれながらに持っている権利」であって、だれにとっても大切なもの、日常の思いやりの心によって守られなければならないものです。



第200回特集 水平社宣言（全国水平社創立）100年



全国水平社創立大会での少年代表山田孝野次郎さんの演説風景

人の世に熱あれ
人間に光あれ

水平社宣言とは

1922年（大正11年）3月3日、京都市の岡崎公会堂に、全国の被差別部落の人々が自らの解放を求めて集まり、「全国水平社」の創立大会が開催されました。その際に読み上げられた宣言文が「水平社宣言」（右頁、現代要約文）です。そこには「同情ではなく人間を尊敬することによって、不当な差別を受け入れることなく誇りを持って自らが立ち上がり、自分たちではなく、全ての人間の解放を目指す運動を進めていく」という当事者たちの熱い気持ちが込められています。これは「日本で初めての人権宣言」とも言われ、その後の部落解放運動や、さまざまな人権運動などに多大な影響を与えました。

宣言

全国各地にちらばっている、被差別部落の仲間たちよ、団結しよう。
長い間、いじめられてきた仲間たちよ、明治になって50年の間、さまざまな方法と、多くの人々によってなされた私たちのための運動は、何のありがたい効果もたらさなかった。それは、そのすべてが、私たち自身が、また他の人々が、つねに人間を侮辱してきた罰だったのだ。これまでなされてきた、人間を軽んじ、憐れむような運動は、逆に多くの被差別部落の兄弟の思いを墮落させてきた。このことを思えば、今、私たちの中から、人間を尊敬することによって、私たち自身を解放するため、自らの自由と平等をもとめる集団運動を起こすことは、当然のことである。仲間たちよ、私たちの祖先は自由と平等を心から求め実行してきた者だった。厳しい支配政策の犠牲者であり、たくましく社会や文化を支えてきた者であったのだ。しかし、ケモノの皮をはいだことで、周りの人から優しいまなざしを奪われた。ケモノの心臓を裂いた代わりに私たちは、暖かい人間の心を引き裂かれた。そこへあざけりと、くだらない唾まで吐きかけられたのだ。だが、私たちの中には、なお誇りある人間の血が、枯れずに流れていたのだ。そして、私たちはその血を受け継ぎ、人が神のように大切にされる時代に出会ったのだ。その犠牲者の我々が差別を投げ返す時がきたのだ。殉教者キリストのように、荊の冠を祝福される時が来たのだ。

我々が差別を受けてきた者であることを誇りうる時がきたのだ。
私たちは、自分自身をいやしくする言葉や、臆病になったりして、祖先をはずかしめたり、人間自身をおとしめたりしてはならない。人の世がどんなに冷たいか、人間を大切にすることが本当はどんなことであるかをよく知っているからこそ、私たちは、心から人生の熱と光を求め、その実現をめざすのである。
水平社はこのようにして生まれた。
人の世に熱あれ、人間に光あれ

大正十一年 三月三日

全国水平社創立大会

上記は、西光万吉の起草による宣言の原文を読みやすいように現代文表記に変更したものです。

真の解放を求め

「全国水平社」の創立には当時の情勢が大きく影響しています。

江戸から明治へと時代が移り、身分制度が廃止されました。しかし、その後の大正時代になっても部落差別はなくなり、結婚や就職・居住などに関する差別や貧困は根強く残っていました。

そのようななか「差別されるのは自分たちに原因があるのではない。差別している社会が変わるべきだ」と考える人たちが仲間とともに自ら立ち上がり、人間を尊敬することによって、平等な世の中をつくろうと結成したのが「全国水平社」です。

全ての人の平等を目指して

「水平社宣言」は、「人の世に熱あれ 人間に光あれ」という文で締めくくられています。この言葉には、部落差別をはじめあらゆる差別をなくすことで、全ての人が平等で生き生きと過ごせる世の中を目指すという想いが込められています。だからこそ「日本初の人権宣言」と言われるのです。

この運動は、当時厳しい立場に置かれていた労働者を励まし、自ら立ち上がる勇気を与えていきました。また、「水平社宣言」の「人間はいたわるべきものではなく、尊敬されるものだ」という考えは、さまざまな人権問題を解決するための運動に今も反映されています。

「水平社宣言」が出されて100年が経つ現在でも差別的な事象があるなど、差別の根絶には至っていません。「全国水平社」が目指した社会の実現のために改めて私たち一人ひとりの努力と行動が求められます。

